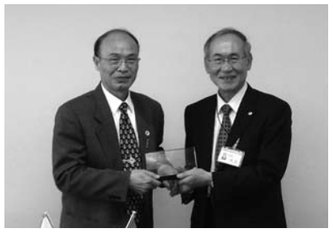
市内中学校と深圳外国語学校の一層の交流推進を約束

相互の交流事業推進について協定を締結

4月15日、飯山市教育委員会は中国広東省深圳（しんせん）市の深圳外国語学校との交流事業を推進するための協定を締結し、同日、市役所で調印式が行われました。

この協定は、飯山市の中学校と深圳外国語学校が交流事業を通じ、日中両国の相互理解、親善および国際理解の推進、向上を図ることを目的としています。また外国語への関心と語学力の向上に関する情報交換や相互支援を進め、教育発展に寄与できる交流事業を推進しようとするものです。



△協定の調印に訪れた深圳外国語学校のゴン学校長（写真左）と市教育委員会土屋教育長

深圳外国語学校とは、平成13年に第一中学校が交流事業の推進について協定を調印。両校の生徒が互いに訪問し、ホームステイや学習活動などを通じ交流を深めてきました。今回は、平成22年度に予定されている市内中学校の統合も見据え、市内すべての中学校と深圳外国語学校の一層の交流促進を行おうと改めて協定を結んだものです。

国際化が進む中、国境を越えた今後の交流活動が、生徒たちの大きな財産になることでしょう。

飯山の自然や若さを象徴

飯山高校の新しい校章が決定

飯山照丘高校と飯山南高校が統合し、昨年4月に開校した長野県飯山高等学校の校章がこのほど作成され、発表されました。

新しい校章は、同校芸術教科講師の千坂経悦さんが作成。いくつかの原案の中から、生徒への意向調査の結果を参考にしながら、校名等選定委員会で決定されました。

この校章は4月3日に行われた新年度の始業式および翌4日の入学式において在校生・新入生に発表。3日の始業式では、デザインを考案した千坂さんから図柄の説明の後、原画が小松茂美学校長へ引き渡されました。

同校では現在校歌の作成も行っており、夏ごろまでには決定される予定です。

㊨**飯山高校の新しい校章**

「一一山（いいやま）」の文字をデザイン化したもので、未来に向けて飛び出そうとする若いエネルギーを表現。飯山の大地、大地を覆う雪、若き血潮を象徴する、緑色・白色・赤色が使われています。

民生児童委員として長年地域福祉の向上に貢献

大塚さんに厚生労働大臣表彰

民生児童委員として、長年にわたり地域福祉の向上に努められたとして、大塚博子さん（鉄砲町）が厚生労働大臣表彰を受けられ、4月11日に市役所で石田市長から表彰状の伝達が行われました。

大塚さんは、昭和61年に民生児童委員に着任。昨年11月の退任まで21年間にわたり活動され、飯山市民生児童委員協議会女性部長や飯山市民生児童委員協議会副会長なども歴任されてきました。

この日、表彰の伝達を行った石田市長は「大塚さんに相談をした多くの方が助けられたと聞いている。長年の苦労に感謝したい」と述べると、大塚さんは「これからも住みよい地域づくりに少しでも協力したい」と話されていました。

市役所からの封筒に広告が掲載されます

市では経費削減のため、市で使用する封筒に広告主の宣伝が掲載されたものを使用させていただきます。

これは市内の印刷業者が広告主を集め、作成された封筒を市に寄付していただくものです。広告は封筒の裏面に掲載されます。皆さんのご理解をお願いいたします。

■お問い合わせ

市役所庶務課庶務係
☎62－3111　内線333

木島地区と瑞穂地区を結ぶ機能的な道路

飯山市・木島平村広域農免道路が開通

野菜・果樹等の農産物流通の効率化や、農村生活環境の改善を図ることを目的とした飯山市・木島平村広域農免道路がこのほど全線完成し、4月22日に開通式が行われました。

△関係者によるテープカット。

木島地区から樽川を渡り瑞穂地区南瑞へ至るこの道路は、平成8年度に計画の起点である木島地籍から着手し、木島平村地籍を通り瑞穂地籍の主要地方道飯山野沢温泉線に接続する終点までの、延長3365メートルの道路です。

開通式では、菜の花公園に程近い樽川に新たに架けられた「菜の花橋」を、地元の親子三世代の家族を先頭に関係者らが歩く渡り初めが行われ、住民待望の道路開通を祝いました。

千曲川水系の河川改修促進・内水排除対策の強化を決議

飯山市区長総会開催

市内各集落の区長さん、行政関係者が一堂に会し、平成20年度飯山市区長総会が4月18日に市民会館で行われました。

総会では市から平成20年度の予算・事業の説明や、鉄道建設・運輸施設整備支援機構から北陸新幹線の進捗状況の説明が行われた他、7地区の区長会から各地域の課題などについて協議事項の発表が行われ、石田市長がそれぞれについて市の対応などについて答弁しました。

総会の最後には、千曲川および千曲川水系の河川改修整備の一層の促進や、内水排除対策の強化など千曲川等の治水対策を決議。清水区長会協議会長から、海野北信地方事務所長、戸田飯山建設事務所長、石田飯山市長に要望書が手渡されました。

清水会長から要望書を手渡した。（写真右から石田市長、海野所長、戸田所長）

未就学児の子育てを応援します

「子育ておうえん券」のご案内

未就学児の子育てを行っている世帯の経済的負担の軽減を図るとともに、市内商店街の活性化を図るため、「子育ておうえん券」を交付します。

交付対象者　平成20年4月1日現在、飯山市に居住し年齢5歳以下の乳幼児の保護者

交付の内容　5歳以下の乳幼児の人数×2万円分の子育ておうえん券

利用可能期間　平成20年7月1日～平成21年1月31日

使用できるお店　飯山商工会議所加盟店から募集し、登録された事業者

交付の方法

①6月上旬、交付対象者に「子育ておうえん券申請書」を郵送します。

②6月下旬、児童手当の現況届の手続きにあわせ、市役所においでいただき、子育ておうえん券をお渡しします。

その他　詳しくは、交付対象者に郵送するご案内の中に記載いたします。

お問い合わせ先　市役所企画財政課企画調整係（☎㉒3111　内線391）

固定資産評価審査委員会の新体制

固定資産評価審査委員会は、固定資産税の納税者が固定資産課税台帳に登録された価格について審査の申し出をした場合に、これを審査決定する機関です。

新委員長は、次のとおり決まりましたのでお知らせします。（敬称略）

▼委員長
服部　質（外様・中条）

▼同職務代理者
佐藤新一郎（秋津・上組）

▼委　員
近藤章一良（柳原・南条）

委員長
服部　質 さん